お客様各位

2025年4月7日

株式会社 豊運

原料サプライヤー（不適切行為の事案）に関わる状況報告及び今後の対応について

**１．経緯**

　当社の原料サプライヤーである「三井金属パーライト社（以下、三井P社と省略する）」は、真珠岩「パーライト製品」の品質データを過去から改ざんしていたという不適切行為の事案として、親会社である三井金属鉱業社から4月4日付けニュースリリースにて公表がなされました。

　　これは誠に遺憾であり、当社としましても本件を重く受け止め、当社プレミックスモルタル製品の生産及び品質の状況等も含めまして現状確認が出来ている内容について、ここにご報告をさせていただきます。

ステークホルダーの皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけすることになり、深くお詫び申し上げます。

**２．原料サプライヤーにおける品質改ざん状況（概要）**

　　三井P社公表を受けてその具体的な内容を確認しましたところ、品質規格項目である「単位容積質量」と「粒度分布」の二項目についてデータ書き換えが行われたことが判明いたしました。

直近2023年4月以降の約2年間の正規検査データでは、「単位容積質量」は品質規格の上/下限に異常値が確認され、「粒度分布」は一部の粒度域に異常値が存在することがわかりました。規格外れ幅は比較的小さく、傾向としては粒度が“粗目”の異常値が多く散見されたことから、本原料を使用する当社軽量モルタルや補修用モルタルの各製品において、その性質上、粒度“細目”よりも安全な方向と予想されます。

**３．当社におけるモルタル製品の生産状況並びに品質状況（要約）**

　　当社軽量モルタルや補修用モルタル製品では、本原料を一部の製品（19製品）に副原料として、西日本3工場（京都工場、京都第二工場および岡山工場）で使用しています。

　　すべての工場（製品）において、工程通過性等、製造工程に特に異常が認められませんでした。また、製造時の出荷前検査においても、粉体カサ比重やフロー値、単位容積質量、コテ感応試験等を測定しておりますが、すべての検査値に異常は無く、当社品質基準を満たすものが出荷されていることを確認いたしました。

　　なお三井P社によると、昨年11月28日出荷分より規格内品のみが供給されており、当社における生産・品質への懸念は解消されているものと考えられます。今後もISO9001品質マネジメントシステムに基づき安定品質・供給に努め、お客様に安心してご使用いただけるよう注力いたします。

**４．当社におけるお客様等への対応方法について（公表の方法など）**

　　当社の方針として、先に述べましたようにプレミックスモルタル製品はすべての期間において品質基準を満たしていることから、当社ホームページへの掲載によってステークホルダーの皆様への公表とさせていただきます。

　　原料パーライトの安定調達に向けて、品質規格の見直しが必要な場合は、当社にて内容を十分に吟味したうえで、お客様への4M変更やJIS認証機関への規格変更等の手続きを適切に進めてまいりますので、この場をお借りしてご報告させていただきます。

**５．参考（パーライト改ざん品相当（規格外品）使用のモルタル製品の品質確認（検証）**

3項でお示しの通り、当社製品の品質は安定に推移していることから、原料におけるこの範囲の物性変化であればモルタル製品への品質影響は軽微～無いものと予想されます。

他方で（安全を期して）、三井P社より品質改ざん品と同等の規格外サンプルを入手し、正常品と比較する形でモルタル性状への影響を確認すべく、現在モルタル試製により検証を行っております。

途中経過ではありますが品質への影響は見受けられず、この範囲の規格外品ではモルタル性状に影響を及ぼさないものと予想されますが、品質検証を継続いたします。

今後、気になる点や異常値が発生した際は速やかにご報告、ご相談をさせていただきます。

**６．まとめ（今後の対応）**

当社における過去の生産状況及び品質状況から、プレミックスモルタル製品としての品質基準は満たしており、三井P社パーライト製品の品質改ざんによる影響は軽微～無いものと判断されます。また、パーライト規格外品サンプルを用いた検証においても、当社規格値を外れる等の問題となる現象は現状において確認できませんでした。

現在（昨年11月28日以降）当社では、規格内品のパーライトを受け入れ生産に使用しており、当社製品の品質は安定していますが引き続き、安定品質の確保のために最善を期していきます。

一方、三井P社によるパーライト品質規格見直しを受領する場合は、改めてお客様への4M変更やJIS認証機関への規格変更等の手続きを迅速に進めてまいります。

ご不明な点やご質問等がございましたら、下記宛てにお問い合わせ願います。引き続き、ステークホルダーの皆様にご満足いただける製品とサービスを提供できますよう、全力で努めてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

お問い合わせ先：

株式会社 豊運 技術本部

[info@ho-un.co.jp](mailto:info@ho-un.co.jp)